

出雲地区

保護司会 だより

第43号

目次

巻頭言(出雲地区保護司会会長) …	1
社会を明るくする運動 ……	2
啓発講演会のお知らせ ……	3
総理大臣メッセージ ……	4
標語・作文の募集 ……	5
平田支部の活動 ……	6
役員紹介 / 主な事業 ……	7
観察協会会員の募集 ……	8

地域の皆様とともに作る明るい社会



出雲地区保護司会 会長 朝山 一玄

皆さまには日頃より更生保護事業へのご理解を賜り、保護司会および更生保護女性会などが取り組む「社会を明るくする運動」等の諸活動へのご協力を通じて、犯罪や非行のない安心安全な地域社会の構築のためにご協力いただき、まことにありがとうございます。

私たち保護司は、罪を犯した人や非行のある少年に寄り添って立ち直りを助けるとともに、犯罪を予防するための世論の啓発に努めて、地域社会の浄化を図ることをその使命としています。道を踏み外して過ちを犯した人たちに更生を促して自立に導くのは容易なことではありませんが、地域の皆さまが支援の手を差し伸べ、温

かい目で見守っていただければ、その道筋はより確かなものとなります。

近年、保護司活動への不安感や負担感、人間関係の希薄化によって、保護司の担い手確保が次第に難しくなり、高齢化も進んでいます。その一方で、社会環境の変化や価値観の多様化に伴って地域社会が抱える課題が複雑化し、保護司の限られた力だけでは対応できない問題も徐々に増えてきています。それを補い、一人でも多くの人を正しい道に導くため、より多くの方々に保護司や更生保護ボランティアの活動について知っていただき、理解と共感を深めていただけるよう願っています。



(勝島徹正保護司 提供)



第75回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

主唱：法務省

メッセージ伝達

出雲地区保護司会では、次の日程により内閣総理大臣からの“社会を明るくする運動”メッセージを伝達いたします。

これは、「すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとする」趣旨に基づいて内閣総理大臣が国民に向けたメッセージを市長に伝達するものです。

とき●七月一日(火)

午後一時から

ところ●出雲市市民会館

啓発講演会

とき●七月一日(火)

午後一時三十分から

ところ●出雲市市民会館

広報・啓発活動

① 広報車やポスター・のぼり

等による啓発及びショッピングセンターでの街頭キャンペーン活動

② 標語の募集

募集対象 小・中学生、一般

③ 作文の募集

募集対象 小・中学生

④ ミニ集会の開催など地域との連携・協働活動の推進

⑤ 中学生との対話集会や講演会の開催



令和6年度 メッセージ伝達式

●この運動の趣旨

すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとするものです。

●この運動が目指すこと

- (目標1) 犯罪や非行を防止し、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと
- (目標2) 犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

●この運動において力を入れて取り組むこと

急速に変化する社会の中で、孤独・孤立や生きづらさを抱えながらも、過去の過ちから立ち直ろうとする人を再び地域に受け入れることにより、多様な背景を持つ人と人が緩やかに繋がりつつ共に支え合う包摂的な地域社会を実現できるよう、次のことに力を入れて取り組む。

- (1) 誰もが抱える問題が犯罪や非行の要因となりうることや、人は変われるということを信じて寄り添い続ける更生保護の活動は、再犯を防止して立ち直りを支える大切な活動であるとともに、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心な社会作りにつながることに、国民の各層に広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- (2) 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- (3) 同じ地域社会の一員である保護司、更生保護女性会会員、BBS会員、協力雇用主等の活動に対する支援の充実を図るほか、「国際更生保護ボランティアの日」と連動させた積極的な広報等により、更生保護ボランティアを増やすための取組
- (4) 民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークを作る取組
- (5) 犯罪や非行が起らないよう、こどもや若者の健やかな成長を期する取組

●強調月間

7月を“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～強調月間とする。また、再犯の防止等の推進に関する法律において、同じく7月が「再犯防止啓発月間」とされている趣旨を踏まえて運動を推進することとする。

ただし、近年の気候変動の影響による夏季の気温の上昇を踏まえ、広く国民の参加を促す本運動の趣旨に鑑み、必要に応じて取組を効果的かつ安全に実施するための実施時期・方法を工夫することとする。

第75回 “社会を明るくする運動” 啓発講演会

失敗を糧とする

～映画作りから考える先入観との戦い～



○とき

7月1日(火)

14時30分～

○ところ

出雲市民会館

駐車場には限りがあります

参加
自由

入場
無料

○講師

錦織 良成さん

(脚本家・映画監督)

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。



更生ペンギンのホゴちゃん・サラちゃん 保護司のクジラ先生

◆プロフィール

- 1962年 島根県出雲市出身。
- 1996年 劇映画「BUGS」(主演：高橋かおり 他)で映画監督デビュー。
- 2002年 「白い船」(主演：中村麻実、濱田岳)脚本・監督。故郷を舞台にした劇場映画を公開。
- 2010年 「RAILWAYS-49歳で電車の運転手になった男の物語」(主演：中井貴一 他)脚本・監督。
- 2022年 「高津川」(主演：甲本雅裕、戸田菜穂、大野いと 他)脚本・監督

この他、脚本・監督作品多数
原作物の映画化が多い中、自ら取材し企画、脚本化することにこだわる数少ない映画監督の一人です。

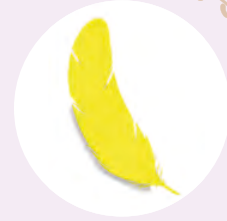
最新作「遙かな町へ」原作：谷口ジローを制作中 2026年秋公開予定

主催：出雲地区保護司会

協賛：“社会を明るくする運動” 出雲市推進委員会

第75回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、多くの方々の御賛同・御協力を得て、今年で75回目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会の中での“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。また、過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。悩める方々に寄り添い、互いに相手を受け容れることが、安全で安心な明るい社会の実現につながります。

こうした観点から、私たちが暮らす地域では、保護司や協力雇用主を始めとする「更生保護ボランティア」の皆様が、社会復帰を目指す人々を身近で支え、その再出発を助けています。政府においても、再犯防止のための就労支援、保護司等との連携強化、町ぐるみの防犯活動の促進などに取り組んでいます。

この運動を通じて、より多くの国民の皆様にも、立ち直り支援の活動を知っていただき、協力の輪が広がっていくことを期待いたします。併せて、「人は変わる」と信じ、それを待つことの大切さについても、御理解をいただければ幸いです。「幸福の黄色い羽根」のもと、多様な背景を持つ人々が、理解し合い、支え合うことによって、犯罪や非行のない明るい地域社会が実現するよう取り組んでまいりますので、国民の皆様の御協力をお願い申し上げます。

内閣総理大臣

石破 茂

募集のお知らせ

標語

『社会を明るくする運動』強調月間にあわせて、「犯罪のない明るい街づくり」「青少年の非行防止」がアピールできる標語を募集します。

一般の部

主催

出雲地区保護司会

応募資格

出雲市内に居住する方

募集方法

一人三点以内とし、自作・未発表のもので、用紙は自由です。作品には住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入してください。

提出先

市役所・各行政センター・コミュニティセンター・社会福祉協議会などに設置してある投稿箱に入れていただくか、出雲更生保護サポーターセンター(出雲地区保護司会)まで郵送してください。

募集期間

七月一日～七月三十一日

表彰

最優秀賞 一点(賞状・副賞)
優秀賞 五點(賞状・副賞)
佳作 十點(賞状・副賞)

小学生・中学生の部

主催

出雲地区保護司会

出雲市青少年育成市民会議

応募資格

出雲市内の小中学生及び中学生

募集方法

一人三点以内とし、自作・未発表のもので、用紙は自由です。作品には学校名・学年・氏名(ふりがな)を記入してください。

提出先

各学校を通じて、出雲市市民活動支援課青少年支援係へ提出してください。

募集期間

夏休み期間中

表彰

最優秀賞 各一点(賞状・副賞)
優秀賞 各二点(賞状・副賞)
佳作 各十點(賞状・副賞)
詳細については、各学校を通じてお知らせします。

作文

小・中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことを作文に書くことを通じて、この運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

主催

『社会を明るくする運動』島根県推進委員会

後援

島根県小学校長会・島根県中学校長会・山陰中央新報社・島根県保護司会連合会・更生保護法人島根更生保護観察協会・島根県更生保護女性連盟・島根県BBS連盟

応募規定

応募資格

島根県内の小中学生及び中学生

テーマ

『社会を明るくする運動』の趣旨を踏まえ、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことなどを題材としたものとしします。

原稿枚数

四百字詰め原稿用紙三～五枚程度

応募先

出雲更生保護サポーターセンター(出雲地区保護司会)へ学校を通

じて提出してください。
●募集締切日 九月五日(金)
●その他

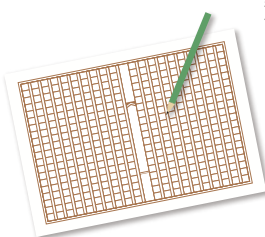
募集作品は、自作・未発表のものに限りま。応募に当たっては、題名・学校名・学年・氏名(ふりがな)を記入してください。

選考

出雲地区保護司会に提出された作品の中から、小・中学生各五名の優秀作品を島根県推進委員会に推薦します。県内保護区の推薦作品を審査し、入賞作品が決定されます。この内各三点以内が中央推進委員会(法務省)に推薦されます。

表彰

最優秀賞 各一点(賞状・副賞)
優秀賞 各八點(賞状・副賞)
応募者全員に記念品が贈られます。別途、出雲地区保護司会でも、推薦した作品を表彰します。



「つながり」を大切に

平田支部 野津雅史

令和六年十二月十六日、出雲地区保護司会平田支部会会員および平田地区更生保護女性会会員計十四名で、広島県にある貴船原少女苑の視察研修を行いました。

梅雨の朝

癖毛の母の 愛おしく

『中国路』四十七号

貴船原少女苑に在苑していたM・Yさんの作品です。こんな句のよめる人間教育にふれたくて参加しました。

貴船原少女苑は、家庭裁判所で少年院送致等の決定をうけた、おおむね十二歳から二十歳までの女子が収容される少年院です。収容定員は六十名。私たちがうかがった当時、十六名の少女が在苑していました。うち二人は中学生です。

折よく美術の授業を見学させていただきましたが、少女たちの茶髪に染めた結び髪と、面立ちの幼さが心を打ちました。前年度には

殺人・強盗罪で収容された少女もいたそうです。普通的女子高校のような雰囲気の中、彼女たちのために私に何ができるだろうかと複雑な思いをいだいてその場を離れました。



研修風景

少女たちが在苑できるのは最長十一か月です。この間、個々に見合った指導が、法務教官と一対一で行われます。

そのプログラムは、(一)生活指導

(二)職業指導 (三)教科指導 (四)体育指導 (五)特別活動指導からなっており、あたり前の生活習慣はじめ、職業や一般教科、体育やクラブ・情操にわたる学びの機会が用意されておりました。

これらの活動範囲は苑内にとどまりません。



苑生が育てた野菜の販売

職業指導プログラム課程では、少女たちが自分で発案し作り出した作品や製品を苑外に販売します。その実績による自信はもちろん、購買者の笑顔ひとつが更生への励みとなるようでした。

「ホステスとして月に何十万、何百万稼いだ子がいますが、自分で

企画し販売して得た百円玉の方がうれしいと言います」の説明には、参加者一同大きくうなずきました。苑を去る時、ご案内くださった法務教官お二人から、部外者である私たちに対して何を願うのかお話しいただきました。ベテランの男性教官も採用二年目の女性教官も、つながりを大切にしてくださいと訴えられました。特に、女性教官の目は、あたかも一人の姉として訴えていたかのようで忘れられません。

「つながり」、参加者一同改めてこの四文字を温めた研修でした。



苑生手作りの領収書

出雲地区保護司会役員紹介

(※は兼任者)

会 長 朝山 一玄 (出雲支部長)

副 会 長 野津雅史 (平田支部長) ※

村上 勉 (斐川支部長)

中尾 亮 (河南支部長) ※

渡部 舟海 (大社支部長) ※

常任理事 坂本美喜雄 ※ 橘 亮秀

佐々木知江 三 水 教一

加地 崇志

理 事 藤原恵美子 ※ 赤井賢照

嘉本武司 ※ 景山 大圓

監 事 石飛博雄 渡部享次

三島 健二

事務局 片寄靖久

専門部会 (○…部会長 ○…副部会長)

総務部会

○川上雅文

○野津 徳男

研修部会

○坂本美喜雄

○津戸 弘光

犯罪予防部会

○渡部 舟海

○中尾 亮

○藤原恵美子

協力組織部会

○坂本 裕太

○神田 欣司

広報部会

○野津雅史

○嘉本武司

主な令和7年度事業

出雲地区保護司会では、第75回“社会を明るくする運動”をはじめとする犯罪予防活動やその他の取組について、関係機関・団体と連携を図り実施します。また、会員一同が地域別定例研修などに参加し、自己研鑽に励み、更生保護の進展に努めます。

1.会議の開催

総会、理事会、常任理事会、総務・犯罪予防・研修・協力組織・広報の5部会、保護司候補者検討協議会を開催します。

2.犯罪予防活動の推進

第75回“社会を明るくする運動”では、内閣総理大臣のメッセージ伝達式、啓発講演会、街頭キャンペーン、広報車による広報、横断幕・のぼり旗などによる啓発、また、標語や作文の募集を行います。

出雲地区保護司会だより第43号・第44号を市内全戸に配布し、啓発に努めます。

3.処遇支援活動の推進

再び犯罪をすることを防ぎ、善良な社会の一員として自立するために、随時、個別の処遇支援を行います。また、生活困窮者自立支援ネットワーク会議などに参加し、関係機関・団体との連携を図ります。

4.更生保護サポートセンターの運営

7人の企画調整保護司が交代で、出雲更生保護サポートセンターに常駐し、保護司や更生保護団体の活動を支援したり、関係機関・団体との連絡・調整をしたりするなどして、更生保護業務を行います。

5.研修活動

地域別定例研修・新任研修等、保護観察所主管の研修、出雲地区保護司会、各支部の自主研修などを実施します。また、青少年育成市民会議や子ども・若者支援協議会、社会福祉協議会などが主催する研修会に参加します。

6.更生保護団体との連携の促進

出雲地区更生保護関係者協議会を開くなどして、更生保護女性会、協力事業主会、BBS会等の連携を強めます。

7.島根保護観察協会等との連携・協力

島根保護観察協会の会員を募集します。この会費は更生保護のために使われます。出雲地区保護司会会員から食料や生活必需品を集め、更生保護施設「しらふじ」に寄贈します。

更生保護、

あなたの善意が

事業の支え。

―島根保護観察協会会員募集―

犯罪や非行は、非難されるべきものです。でも、犯罪や非行をした人を、孤立させないで、更生のため必要な範囲で支え、助けることにより再犯を防止する、これが私たちの願いです。

島根保護観察協会は、更生保護事業の充実発展のため、事業を行っています。あなたも、会員として協力いただけませんか？

お問い合わせ

出雲更生保護サポートセンター

☎22-7190

観察協会加入 お礼とお願い

昨年度、出雲地区で千四百人もの皆さまに、島根保護観察協会にご加入をいただきました。

厚く御礼申し上げます。

今年度も、引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

出雲地区保護司会

会長 朝山 一玄

出雲地区保護司会だより 第四十三号

令和七年六月一日発行

出雲地区保護司会

事務所：出雲市今市町五四三番地 電話22-7190

保護司の動静

◎退任

園山久美子(出雲)

(令和七年五月三十一日付)

◎新任

森山加代子(平田)

(令和七年六月一日付)

◎再任

赤井 賢照

朝山 一玄

糸賀 太道

雲藤 芳子

岡本 賢治

川上 雅文

坂本 正人

佐藤 道子

鈴木 二朗

福田 緑

山崎 寧子

山辺 浩司

山本 登

吉岡 広明

米田 暁雄

(以上出雲)

竹下 正宏

西尾 弘道

三島貴栄子

矢田まり子

佐々木知江三

(以上平田)

三島 健二

宮岡 泉

上代 真弓

(以上斐川)

横田 直己

神田 欣司

加地 崇志

渡部 舟海

(以上大社)

更生保護功労受章者

藍綬褒章

(令和七年 春の叙勲・褒章)

勝島 徹正

こもれび

保護司会活動は、罪を犯した人や非行のある少年に寄り添って円滑な社会復帰をめざす関係者の支援により促進しても、社会の中に居場所や仕事がないと再び犯罪をします。以上のことから罪を償って復帰する本人の自覚と寄り添える側で、サポートする保護司、更生保護ボランティア、地域の皆さんの温かいご理解ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。復帰プログラムの中に社会貢献活動への取り組みも必要と考えます。

このたび、広報部会長を退くことになりました。大変お世話になりました。

(坂根光紀)

広報部会編集委員

◎野津雅史 ○嘉本武司

坂根光紀 石飛博雄

山田信之 林 誠治

山辺浩司 渡部享次

三島健二 今岡輝夫

藤井哲眞 勝島徹正

高見睦哉

山崎寧子

三島貴栄子

水 教一

川光秀昭

◎：部会長 ○：副部会長

※この広報紙は、更生保護法人島根保護観察協会からの助成金を財源として発行しています。